

運命と選択の狭間で

祝宴の場



- 王女の誕生を祝う宴
- 妖精が怒り、王女に呪いをかける

王と王妃

- 娘を守るために国中の紡錘を焼き払う
- それでも王女は紡錘と出会ってしまう
- ⇒ 慎重であっても避けられないこともある

眠りがもたらす変容

百年の眠り

- 単なる物語の演出ではない
- ⇒ 成長や変化のための期間

王女が目覚める

- 新たな人生を歩む準備が整った女性へ



城を覆う茨の森

- 王女を守り続ける
- ⇒ 「待つことの大切さ」を教えてくれる

真実の愛と目覚め

王女の目覚め

- 「真実の愛の力」を象徴的に描く
- ⇒ 愛には訪れるべき時期がある



城全体が再び動き出す

- 愛がもたらす生命力と希望の象徴

真実の愛

- 周囲の人々までも幸せにする力